



# 1. 学科課程

## 学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
基幹科目	6921	心理学概論②					眞嶋良全 豊村和真 眞嶋良全	
	6922	心理学研究法(福心)②						
	6923	心理学統計法	②					
		心理学実験(福心)		④				
		心理学調査法			2			
		多変量解析法				2		
		心理学実験特殊実習				2		
		専門演習Ⅰ			②			
		専門演習Ⅱ				②		
	専門演習Ⅲ				②			
	専門演習Ⅳ				②			
	卒業論文				⑥			
基礎心理科目		学習・言語心理学			2			
		神経・生理心理学	2					
		知覚・認知心理学	2					
		感情・人格心理学	2					
臨床心理学関連科目	6515	心理学理論と心理的支援(A)	2				佐藤祐基 佐藤祐基	
	6516	(B)	2					
		心理学的支援法論		2				
		臨床心理学概論			2			
		司法・犯罪心理学			2			
		公認心理師の職責			2			
		知的障害者の心理		2				
社会的・臨床的スキル科目		心理演習			2			
		心理的アセスメント		②				
		ソーシャルスキル実習				2		
対人・社会科目	6517	社会理論と社会システム	2				水川喜文 遠隔講義	
		グループダイナミクス		2				
		社会・集団・家族心理学		2				
		産業・組織心理学		2				
		臨床社会心理学		2				
発達・教育臨床科目	6108	福祉社会学	2				中田知生	
		ケアマネジメント論		2				
		福祉財政論		2				
発達・教育臨床科目	6103	ジェンダー論(計)	2				ウルリケ・ネンシュティール	
		臨床発達心理学			2			
		教育心理学(A)	2		2			
		教育相談論(A)	2		2			
発達・教育臨床科目		発達心理学(社)	2				隔年開講	
		教育・学校心理学		2				
		特別支援教育総論		2				
臨床科目		障害児教育論			2			
		知的障害教育方法論Ⅰ	2					
		知的障害教育方法論Ⅱ		2				

履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
		1年以上 履修可	2年以上 履修可	3年以上 履修可	4年以上 履修可		
		前通後	前通後	前通後	前通後		
発達・教育臨床科目	肢体不自由教育方法論 病弱教育方法論 視覚障害教育論 聴覚障害教育論 重複障害・LD等教育論 障害児教育実習		2				
福祉・医療科目	6911 精神疾患とその治療 人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学 障害者・障害児心理学 社会福祉の思想 障害者福祉論 知的障害者の臨床心理 社会福祉入門② 福祉心理学 知的障害者の心理検査実習 知的障害者の病理保健 肢体不自由者の病理保健 病弱者の病理保健		2 2 2 2 2 ②	2 2 4	2 2 2 2	橋本菊次郎	隔年開講  ※  ※
教育関連科目	5641 現代政治学 現代社会学 現代哲学 宗教学 社会思想史 国際政治学 国際経済学 I 国際経済学 II 憲法 I [人権] 憲法 II [統治機構] 2401 経済学入門(文社部)		2 2 2 2 2 4 4	2 2 2 2	2	岩本一郎 小松知春	

※「知的障害者の臨床心理」、「知的障害者の心理検査実習」は特別支援教育免許取得に係る科目につき、教職部門会議の許可が必要である。



## 2. 卒業に必要な単位

### (A) 大学共通科目<sup>1</sup>

大学共通科目は、人間科学、人文科学、自然・数理科学・社会科学、地域と世界、キリスト教学、キャリア支援、外国語からなる。

- (1) 人間科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (2) 人文科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (3) 自然・数理科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (4) 社会科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (5) 地域と世界  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (6) キリスト教学  
この分野から4単位以上を修得すること。ただし、聖書の思想と文化Ⅰ及びⅡか、又はキリスト教の歴史Ⅰ及びⅡのいずれかをセットで修得すること。
- (7) キャリア支援  
キャリア教育科目から、学びとキャリア形成1科目2単位を修得すること。日本語科目から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせた計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。なお、総合講義に関しては、修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (8) 外国語
  - 1 英語Ⅰ・Ⅱの2科目4単位を修得し、加えて英語Ⅲ・Ⅳの2科目4単位または英語以外の外国語科目のⅠ～Ⅳの4科目8単位を修得すること。
  - 2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定<sup>2</sup>](#)」の頁を参照すること。
  - 3 自分が選択した言語Ⅰ～Ⅳの8単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。
- (9) (1)～(8)までの上記で修得すべき単位数32単位以外に6単位以上を修得すること。

### (B) 学科専門教育科目

下記の要領で履修し合計66単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『基幹科目』から必修24単位を修得すること。
- (2) 『社会的・臨床的スキル科目』の心理的アセスメント、および『福祉・医療科目』の社会福祉入門と福祉心理学の必修3科目6単位を修得すること。
- (3) 上記で修得していない『基幹科目』『社会的・臨床的スキル科目』『福祉・医療科目』の科目の中から『基礎心理科目』『臨床心理学関連科目』『対人・社会科目』『発達・教育臨床科目』『教育関連科目』の科目の中から36単位を修得すること。
- (4) 履修登録の条件が指定されている科目が「(C)積上指定科目」として示されているので、必ず確認すること。
- (5) 「3. スクリーニング」には、3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件が記載されているので、必ず確認すること。
- (6) 卒業論文の履修は、最終年次の前年次までに90単位以上（編入生、転学部転学科生は、心理学実験を含む）を修得していることを要件とする。詳しくは、「[卒業論文<sup>3</sup>](#)」の頁を参照すること。
- (7) 実習科目を履修する場合、実習費を当該科目の履修年度において納入しなければならない。科目名及び金額については、この履修ガイドの「学則（抜粋）」の最後に示してあるので確認すること。
- (8) 3年次に、心理科学コースか心理臨床コースの一方を選択し、各コースに所属する教員の

1. 大学共通科目  
39～47ページを参照のこと。

2. 外国語科目の単位認定  
165・166ページを参照のこと。

3. 卒業論文  
148～153ページを参照のこと。

専門演習を選択して履修すること。コースおよび専門演習の選択に関しては、3年次オリエンテーションの際に指示する。

### (C) 積上指定科目

以下の科目においては、履修登録の条件が指定されているので注意すること。

専門演習Ⅰ・Ⅱ：心理学実験、心理学統計法の単位修得を条件とする。ただし編入生および転学部転学科生など特別に配慮を要する場合についてはこの限りでない。

専門演習Ⅲ・Ⅳ：原則として専門演習Ⅰ・Ⅱの単位修得を条件とする。

心理学実験特殊実習：心理学実験、心理学研究法、心理学統計法の単位修得を条件とする。また心理学実験特殊実習は人数制限を行う科目であるため、事前登録の結果、履修希望者が定員10人を超える場合には、前年次終了までのGPAにより履修者を制限することがある。なお、心理学実験特殊実習を履修したものは心理演習を履修することができない。

心理演習：条件1. 2年次終了までに、心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験、心理学的支援法、臨床心理学概論、心理的アセスメントの7科目の単位を修得済みであること。

条件2. 条件1. の7科目でのGPAが3.0以上であること。

条件3. 2年次終了までに、公認心理師となるために必要な科目<sup>1)</sup>のうち、以下の1年次および2年次配当の19科目の中から、条件1. の7科目を含めて15科目(8割相当)の単位を修得済みであること。

1年次科目：心理学概論、心理学研究法、心理学統計法

2年次科目：心理学実験、神経・生理心理学、知覚・認知心理学、心理学的支援法、産業・組織心理学、発達心理学、福祉心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、臨床心理学概論、心理的アセスメント、社会・集団・家族心理学、教育・学校心理学、健康・医療心理学、障害者・障害児心理学、人体の構造と機能及び疾病

3年次編入生および転学部転学科生など特別に配慮を要する場合については、学科長と相談すること。なお、心理演習を履修したものは心理学実験特殊実習を履修することができない。

心理実習：条件1. 公認心理師を志す学生であること。

条件2. 前年次終了までに90単位以上を修得していること。

条件3. 心理演習、公認心理師の職責を単位修得していること。

ただし、3年次編入生および転学部転学科生については、上記の三つの条件に加えて、前年次終了までに心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験、心理学的支援法、臨床心理学概論、心理的アセスメントの7科目の単位修得を必須とし、これら7科目でのGPAが3.0以上であること。

### (D) その他

(1) 『大学共通科目』及び『基幹科目』『基礎心理科目』『臨床心理学関連科目』『社会的・臨床的スキル科目』『対人・社会科目』『発達・教育臨床科目』『福祉・医療科目』『教育関連科目』で修得すべき単位104単位以外に必要な20単位は、上記の修得すべき単位104単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、社会福祉学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目<sup>2)</sup>から算入できる。

(2) ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目から算入できるのは8単位までである。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。

(3) 他学科専門教育科目は51～57ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。

(4) 副専攻科目<sup>3)</sup>については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。

(5) 教育心理学及び教育相談論は、教職に関する科目としても開設されているが、卒業単位計算上、福祉心理学科専門教育科目として参入し、履修登録時は教職に関する科目として取り扱い、履修登録単位数の上限には含まない。

(6) この(A)(B)(D)のことについて、「(E)卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

#### 1. 公認心理師となるために必要な科目

201ページを参照のこと。

#### 2. 社会福祉学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目

48～57ページを参照のこと。

#### 3. 副専攻科目

183～190ページを参照のこと。



(E) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数			
		必 修	選 択		
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学		2 単位	} 6 単位	
	人 文 科 学		2 単位		
	自 然 ・ 数 理 科 学		2 単位		
	社 会 科 学		2 単位		
	地 域 と 世 界		2 単位		
	キ リ ス ト 教 学		4 単位		
	キャリア支援	総 合 講 義			
		キ ャ リ ア 教 育	2 単位		
		日 本 語 科 目	4 単位		
		情 報 科 目	2 単位	2 単位	
外 国 語	4 単位	4 単位			
計		12単位	20単位	6 単位	
学 科 専 門 教 育 科 目	基 幹 科 目	24単位		} 36単位	(注) 20単位
	基 礎 心 理 科 目				
	臨 床 心 理 学 関 連 科 目				
	社 会 的 ・ 臨 床 的 ス キ ル 科 目	2 単位			
	対 人 ・ 社 会 科 目				
	発 達 ・ 教 育 臨 床 科 目				
	福 祉 ・ 医 療 科 目	4 単位			
	教 育 関 連 科 目				
計		30単位	0 単位	36単位	
社会福祉学部他学科専門教育科目					
他学部他学科専門教育科目					
国 際 交 流 関 係 科 目					
副 専 攻 科 目					
計		42単位	20単位	42単位	20単位
合 計		124単位			124単位

大学共通計  
38単位

専門教育計  
66単位

(注) この20単位に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。



### 3. スクリーニング

(3年次以上の専門教育科目及び教職に関する科目の履修に必要な基礎条件)

2年次終了までに、下記の事項を満たしていないときは、3年次以上に配当された専門教育科目及び教職に関する科目の履修はできない。ただし、2年次編入生及び転学部転学科生については、個別に学科長が指導する。

次の科目を含み50単位以上を修得していること。

- ・英語Ⅰ，英語Ⅱ，心理学概論 各2単位 合計6単位